

美作市 行政懇談会

十月二十二日、粟井小学校2階、多目的ホールで行政懇談会が行われました。美作市から8名、議長、粟井地区から42名、全体で51名の会になりました。市長の挨拶では、通常の政策と特別力を入れる政策についてなど。次に議長挨拶があり、行政報告では、福原政策審議監より美作市の財政状況について、森分総合戦略監より「美作市のまち・心・こと創生総合戦略」について、山本保健福祉部長より、看護学校生の奨学金増額について、小林教育次長より学校教育や公民館活動について、田中支所長より行事の案内などの報告がありました。

引き続き行われた意見交換では、①辺地の人口減少を如何にして食い止めるか。②新規就農者の悩み、③移住者が定住するための空き家の確保について、④通学路の道路拡幅と携帯電話の受信について、⑤粟井小学校の図書館や幼稚園室利用、遊具の安全利用について、⑥猪対策について⑦小房―西谷線の勝田への道路拡幅について、四つ角の国道拡幅について、⑧小学校会議室のエアコン設置について、多目的ホールへの机・イスの設置について、体育館から校舎へのスロープの設置について、⑨能登香の湯の学校への移設と事務職員の常勤について、⑩グラウンド、遊具の保守点検について、など粟井地区の抱える様々な課題について意見交換がありました。

ほとんどの回答が、前向きなものでした。なお、校舎の利活用については、国交省の「小さな拠点」づくり事業を中心として、個別に美作市総合戦略室と協議していくことになりました。総合戦略監は、粟井が美作市の「モデル」となるよう取り組むとのことでした。



作東地域ふるさと祭り



十月二十五日、「第8回作東地域ふるさと祭り」が、作東総合グラウンドで開催され、大勢の人で賑わいました。粟井村のテントも大賑わいで、出展物は全て完売しました。

粟井村は、女性部、生活交流グループ、栄養委員、愛育委員が中心となり、サバ寿司、チラシ寿司、紫芋大福、シシ汁、大学芋、漬け物などを販売しました。次回からは、粟井村を前面に出してアピールしていくよう粟井村のパッケージ作成など中山間地域等活性化応援事業で取組中です。ご協力お願いします。



粟井村の芸能発表は、西森さん、高元さん、鳥形さんでした。

秋の収穫体験 粟井子供会・シヤボン玉クラブ



十月十八日、粟井子供会(永谷義弘会長)、シヤボン玉クラブ(山本朱実会長)の秋の体験活動が行われました。村創りの会等が支援しました。サツマイモの収穫体験では、大きなサツマイモにみんな意欲満々でした。土地が合っているのでしょうか、見事な成長ぶりでした。終わった後で、栄養委員、愛育委員、生活交流グループの方に作って頂いた「紫芋大福」に舌鼓を打ちました。

一方、粟井小学校前の水田では、きれいに実った田で、稲刈りとはで干しを体験しました。稲刈りでは、刈り進める中で迷路づくりに挑戦する子も出てきて、みんな元気いっぱいでした。刈り取った稲は、わらで束ね、はでに干しました。背の届かない子は保護者にだっこしてもらって掛けました。中学生の先輩も、しっかり後輩の作業を指導していました。

粟井地区村創りの会も、農水部を中心に「粟井っ子」を支援しています。サツマイモ関連は約20年、稲刈りは30年続いている行事です。統合の影響はありません。見守りの気持ちが続いています。粟井市民の勤勉さは、今も、これから健在です。粟井村を次の世代に残すために。

粟井村では、学校統合後も地域文化、伝統行事、郷土料理、郷土の特産品などの継承に努めています。また、農地や宅地、墓地の荒廃を防ぐため、「粟井農地保全センター」での活動を精力的に展開しています。粟井村でのイベントも新しい新規定住者や交流人口の増加に努めています。ご支援ご協力を。